

びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2025

ソプラノ
中嶋彰子

©Takumi Imai

司会
桂 米團治

カウンターテナー
藤木大地

ピアノ
久末 航

2025
エリザベート王妃
国際音楽コンクール
第2位
(日本人最高位)

指揮
阪 哲朗

(びわ湖ホール芸術監督)

©Takashi Imai

大晦日は
豪華ゲストが集う
ジルヴェスター・コンサートへ!

2025年
12月31日(水)

15:00開演 [14:00開場
17:30終演予定]

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
大ホール

Program

ラフマニノフ	ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 op.30 久末航(ピアノ)
J・シュトラウスⅡ世	オペレッタ『こもり』よりハイライト(ドイツ語歌唱) 序曲、「歌え踊れ」「ぼくはお客を招くのが好きだ」「シャンパンの歌」ほか
デュカス	「ラ・ペリ」のファンファーレ
ジュー・ツィンスキー	ウィーン、わが夢の街 中嶋彰子(ソプラノ)
杉本竜一	Believe
木下牧子	鷗
ヴォーン＝ウィリアムズ	「旅の歌」から第7曲 藤木大地(カウンターテナー)
カールマン	『チャールダッシュの女王』より「ハイヤー山こそわが故郷」 中嶋彰子(ソプラノ)

※曲目、演奏順等が変更となる場合があります。

管弦楽：大阪交響楽団

独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

合唱：ジルヴェスター合唱団・ユース合唱団

ファンファーレ：ジルヴェスター・ファンファーレ隊

構成・台本：高木 愛

14:20～

ウェルカムコンサート
(大ホール ホワイエ)

■チケット料金【全席指定・税込】

SS席9,900(9,350)円 S席8,250(7,700)円 A席6,600(6,050)円 B席4,950円
C席3,850円 青少年(24歳以下)S～C席2,200円 シアターメイツS～C席1,100円

※()内はびわ湖ホール友会の会員料金

■チケット発売 10/11(土)10:00～

■友の会優先発売 10/9(木)10:00～ (インターネット・チケット受付および電話受付のみ)

■チケット取り扱い・お問い合わせ

びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136 (10:00～19:00) <https://www.biwako-hall.or.jp/>

※火曜日休館・休日の場合は翌日。12/29,30,1/1～3は休館。ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00～17:30営業。

無料
シャトルバス

■JR大津駅⇒びわ湖ホール
運行時間/13:30～14:30
※バス乗り場は、大津駅より北へ徒歩約2分。
■びわ湖ホール⇒JR大津駅
運行時間/終演後随時

豪華賞品が当たる抽選会もあります!

主催・制作：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
第55回滋賀県芸術文化祭参加事業

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー

叶 匠 壽 庵



平和堂

TRENG
東レエンジニアリング



びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート 2025

「ジルヴェスター」はドイツ語で「大晦日」を意味し、この日に行われるコンサートはジルヴェスター・コンサートと呼ばれています。びわ湖ホールでは1998年の開館以来毎年開催しており、2020年から皆様にご来場いただきやすい昼の開演に変更しました。指揮は昨年に続きびわ湖ホール芸術監督・阪哲朗。阪の真骨頂といえるオペレッタの演奏に、2025年「エリザベート王妃国際音楽コンクール」で第2位受賞のニュースに世界が沸いた久末航、世界のディーヴァ・中嶋彰子、世界に誇るカウンターテナー・藤木大地を招きます。また、今年は、ジルヴェスター合唱団に小中学生のみなさんも加わり、よりにぎやかにお贈りします。すっかりおなじみの、びわ湖ホール声楽アンサンブル、ファンファーレ隊はもちろんのこと、クラシック音楽をこよなく愛する落語家・桂 米團治が司会を務める豪華な顔ぶれを、お見逃しなく。

阪 哲朗 Ban Tetsuro

指揮／びわ湖ホール芸術監督



©Florian Hammerich

京都市立芸術大学作曲専修を卒業後に渡欧。ウィーン国立音楽大学指揮科在学中にピール歌劇場専属指揮者となり、これまでに、アイゼナハ歌劇場並びにレーゲンスブルク歌劇場で音楽総監督ほかを歴任。ドイツ、オーストリアなど約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。日本国内においても、多くのオーケストラ公演やオペラ公演を指揮。1995年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。2024年芸術選奨文部科学大臣賞など受賞多数。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術監督、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。滋賀県在住。

中嶋彰子 Nakajima Akiko

ソプラノ



©yellowbelly

北海道生まれ。15歳で渡豪し全豪オペラ・コンクール優勝。シドニーオペラハウスでオペラデビュー後、欧州に拠点を移し、ナポリのサン・カルロ劇場にてムゼッタ役で欧州デビュー。以後欧州の主要歌劇場に多数出演。『アルチーナ』『ランメルモールのルチア』などで国際的評価を得る。99年よりウィーン・フォルクスオーパー専属。NHK交響楽団との共演で日本本格デビュー。国際音楽祭やテレビ出演も多く、これまでに52の主役級オペラロールを上演。ウィーン市立音楽芸術大学教授。農楽塾塾長。出光音楽賞受賞。

久末 航 Hisasue Wataru

ピアノ



©Janine Guldener

2025年世界三大コンクールのひとつ、エリザベート王妃国際音楽コンクールで日本人史上最高位の第2位受賞。17年にはミュンヘン国際音楽コンクールで第3位および委嘱作品特別賞を受賞するなど、国内外で多数受賞。これまで、ヨーロッパの数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団をはじめ、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、東京都交響楽団など国内外のオーケストラと共演。21年CD「サ・リサイタル」、今年10月ドイツのレーベル GENUIN classicsからデュッセルドルフ作品集をリリース。フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学をそれぞれ最優秀の成績をもって修了。ベルリン在住、滋賀県出身。

藤木大地 Fujiki Daichi

カウンターテナー



©hiromasa

2017年オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン(メデア)へロルドで東洋人初のカウンターテナーとしてデビュー。12年第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。13年ボローニャ歌劇場にてグリュック『クレリアの勝利』マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。デビューから現在まで絶えず話題の中心に存在する、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとり。Official Website: www.daichifujiki.com

桂 米團治 Katsura Yonedanji

司会



1978年、父である桂米朝に入門。同年、京都の「桂米朝落語研究会」にて初舞台を踏んで以来、落語の世界はもとより、テレビ、ラジオ、映画、舞台に幅広く活躍を続けている。ミュージカルやクラシック音楽の分野に明るく、モーツァルトに対しては特に造詣が深い。自らをモーツァルトの生まれ変わりとし、各地でオーケストラ等のコンサートに出演している。オペラと上方落語の合体「おべらくご」という新しい分野を確立し話題を集めている。2008年五代目 桂米團治を襲名。16年上方落語協会副会長に就任。「王道を見失わずに歩む」のが信条。

びわ湖ホール声楽アンサンブル

独唱・合唱

BIWAKO HALL Vocal Ensemble

監督: 阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)

名誉指揮者: 田中 信昭 桂冠指揮者: 本山 秀毅 指揮者: 大川 修司

劇場専属のオペラ歌手として、びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演のみならず多岐にわたる声楽曲に取り組んでいる。2013年第26回大津市文化賞、2017年第42回滋賀県文化賞受賞。

ソプラノ: 小林由香 高田瑞希 山岸裕梨 山田結香子
アルト: 岩石智華子 徳田あさひ 森 季子 山内由香
テノール: 有ヶ谷友輝 有本康人* 奥本凱哉 福西 仁
バス: 市川敏雅* 大野光星 佐貴遥斗 西田昂平 芳賀拓郎

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

大阪交響楽団 管弦楽

Osaka Symphony Orchestra

1980年「大阪シンフォニー」そして創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子氏が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！」を提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニー交響楽団」に、10年4月「大阪交響楽団」に改称した。22年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ(<https://sym.jp>)

■チケット料金【全席指定・税込】

SS席 9,900(9,350)円 S席 8,250(7,700)円

A席 6,600(6,050)円 B席 4,950円 C席 3,850円

青少年(24歳以下)S~C席 2,200円 シアターメイッツS~C席 1,100円

※()内はびわ湖ホール友の会会員料金

■チケット取り扱い

びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136

(10:00~19:00 ※火曜日休館・休日の場合は翌日、12/29、30、1/1~3は休館。)
ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00~17:30営業。)

インターネット・チケット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 293-717]

ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード 56868]

e+(イープラス) <https://eplus.jp/> 〈座席選択サービス有〉

※やむを得ない事情により曲目、出演者が変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。※6歳以上入場可。5歳以下のお子様には託児サービスがございます。詳しくは右記をご覧ください。※SS席、友の会料金のチケット、シアターメイッツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱。 (シアターメイッツチケットは電話・窓口のみの受付) ※友の会優先先着の窓口販売はありません。発売初日に限り1回で購入いただける枚数は4枚までとなります。※お申し込みいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。※チケットのお申し込み後、ご案内の期限までに所定の手続きをされなかった場合はチケットの販売・引き渡しをお断りします。※テレコイル機能の付いた補聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えるとヒアリンググループを利用した音声をお楽しみいただけます。

シアターメイッツ会員募集中(入会金・年会費 無料)

6歳以上18歳以下の方ならどなたでも入会いただけます。優待対象公演を青少年料金の約半額でご覧になれます。

詳しくはびわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136まで



SNSでも最新情報が確認できます。

びわ湖ホール

で検索!

託児サービス

対象

1歳以上、5歳以下

利用料金

お子様1人につき1,000円

開設時間

14:30 ~

公演終了後30分まで

申込方法

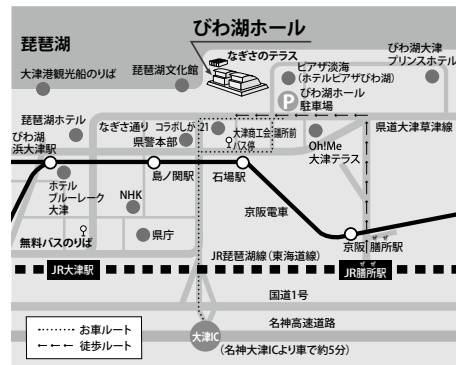
12月24日(水)までに

「びわ湖ホールチケットセンター」

へお申し込みください。

Tel.077-523-7136

(10:00~19:00)



【びわ湖ホールへの交通のご案内】

- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、
- 京阪電車(石山坂本線)のりかえ「石場」駅より徒歩約3分
- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分

《駐車場のご案内》※詳細はびわ湖ホールホームページにて

有料849台 24時間営業

料金:4時間まで毎時210円 4時間以降毎時110円

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号 Tel.077-523-7133(代)
<https://www.biwako-hall.or.jp/>

